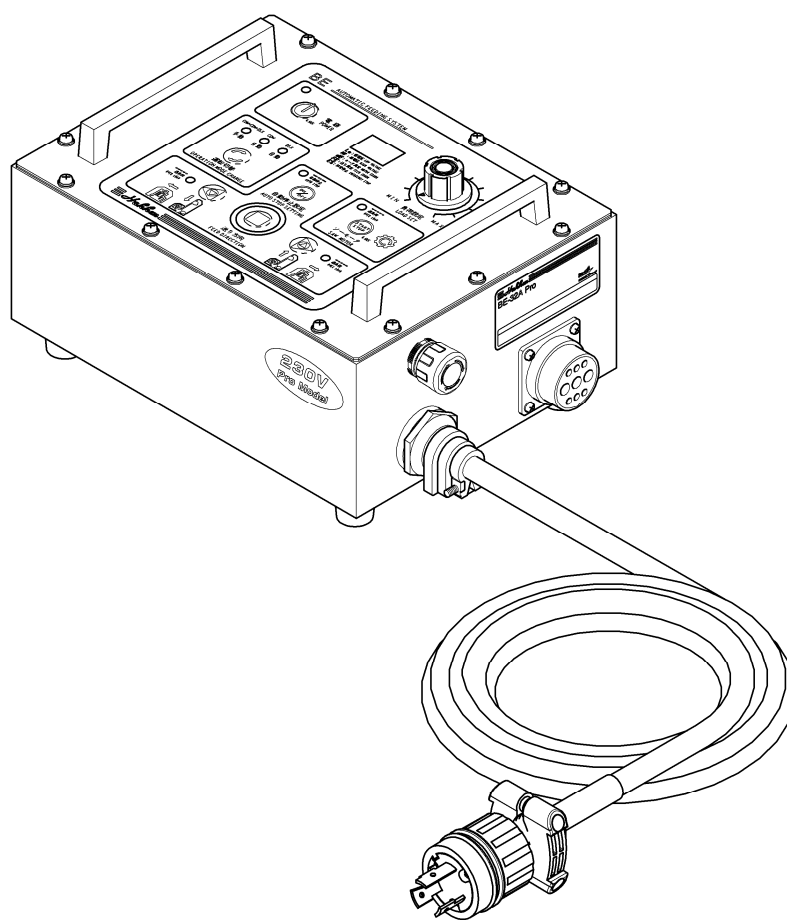




自動送り装置 BE-32A Pro

取扱説明書



- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用するため、状況に応じて遮音壁を設けてください。

注意文の「▲警告」・「△注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」・「△注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

▲警告 : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント : 製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中では、下記の表の通り正式名称を略称で記述しています。(ただし、説明上必要な箇所は正式名称で記述しています)

正式名称	略称
ダイヤモンドワイヤー	ワイヤー
ダイヤモンドブレード	ブレード
電動ワイヤーソーおよびウォールカッターの メインモータ	ソーモータ

目次

1. 警告および注意	
【1】電動工具の安全上のご注意	2
【2】自動送り装置の使用上のご注意	4
【3】自動送り停止機能の使用上のご注意	6
2. 各部の名称	
【1】自動送り装置	7
【2】操作パネル	7
3. 仕様	8
4. 標準付属品	8
5. 用途	8
6. オプション品（別売）	8
7. 使用方法	
【1】配線	9
【2】モード選択	10
【3】CDW自動モード、DSX自動モードでの切断作業	10
【4】手動モードでの切断作業（油圧ウォールカッターの場合）	12
【5】作業終了	12
8. 作業中のトラブルと対策	13
9. 点検・保守・修理	
【1】作業前点検	16
【2】定期点検	16
【3】保守	16
【4】修理について	16
10. 製品の保管	17

1. 警告および注意

- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。
- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「自動送り装置の使用上のご注意」「自動送り停止機能の使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】 電動工具の安全上のご注意

▲ 警 告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業員以外は施工場所へ近づけないでください。
 - ◎ 作業員以外、電動工具やケーブルに触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. 安全保護具を使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを着用してください。
 - ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
 - ◎ 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ◎ 耳せん、耳覆い(イヤーマフ)などの防音用保護具を着用してください。
5. 作業に適した服装で作業してください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 回転物には手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
 - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

▲ 警 告

8. 感電に注意してください。

- ◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
- ◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。

9. ケーブルを乱暴に扱わないでください。

- ◎ ケーブルを持って電動工具を運ばないでください。
- ◎ ケーブルを引張ってコンセントから抜かないでください。
- ◎ ケーブルを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。

10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。

- ◎ 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やオプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

11. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないかしっかりと点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
- ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示にしたがってください。
- ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
- ◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。

12. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◎ 使用しない、または、修理する場合。
- ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
- ◎ その他危険が予想される場合。

13. 調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。

- ◎ 付属品の交換は、取扱説明書にしたがってください。
- ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ◎ ケーブルは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
- ◎ 延長ケーブルを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

15. きちんと保管してください。

- ◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所または、鋸のかかる所に保管してください。

▲ 警告

16. 不意な始動は避けてください。
 - ◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - ◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
17. 屋外使用に合った延長ケーブルを使用してください。
 - ◎ 屋外で使用する場合は、3芯キャブタイヤコードまたは、3芯キャブタイヤケーブルの延長ケーブルを使用してください。
18. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
19. 電動工具の修理は専門店で依頼してください。
 - ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】自動送り装置の使用上のご注意

▲ 警告

1. ウォールカッターまたは、電動ワイヤーソーの使用法および使用上の注意事項は、ウォールカッターまたは、電動ワイヤーソーの取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。
2. 必ず接地(アース)してください。
 - ◎ 故障や漏電の時、感電する原因になりますので、アース付プラグを電源コンセントに合わせて接地(アース)してください。
 - ◎ 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源を使用してください。
 - ◎ 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
3. 切削水の飛散に注意してください。
 - ◎ 作業中は水を使用するため、自動送り装置に水がかからないようにしてください。
 - ◎ 本製品は防雨・防水構造ではありませんので、雨中や湿気の多い場所では使用しないでください。
4. 高所での作業は関係法令にしたがって作業してください。
 - ◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりした足場を確保してください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。
5. 湿式切断の場合は、必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
6. 乾式切断の場合は、必ずゴム手袋を着用してください。
 - ◎ 切り粉を集じんすると静電気が発生することがありますので、必ずゴム手袋を着用してください。

⚠ 警告

7. 使用電源は銘板に表示してある電源で使用してください。
 - ◎ 必ずウォールカッターまたは、電動ワイヤーソーの銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ◎ 表示を超える電圧で使用すると、ソーモータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
8. (特)7芯接続コード組10mの接続は、完全に行ってください。
9. 運搬時には、取手に亀裂や各部のねじにゆるみがないかを事前に確認してください。
10. 使用する機械と周囲の状態が確認できる場所で操作をしてください。
11. 異常時にはただちにスイッチを切ってください。
 - ◎ 運転中にブレード・ワイヤーが止まったり、異音を発した時は、ただちに「ソーモータボタン」または、「非常停止ボタン」を押して、運転を停止してください。

⚠ 注意

1. 直射日光を当てないでください。
 - ◎ 自動送り装置の表面温度が40℃以上になりますと、制御機能が正常に働かなくなる場合があります。屋外での作業の場合は、直射日光を当てないでください。
2. 寒い場所では暖気運転を行ってください。
 - ◎ 気温がマイナス5℃を下回っているところでは制御機能が働きません。そういった場所で使用される時には、電源を入れた後30分程度時間をおき、内部の温度が上がるまで作業を開始しないでください。
※ストーブ・バーナーなどで直接暖めることはしないでください。
3. 自動送り作業中に、身体の一部や(特)7芯接続コード組10mが、走行部に巻き込まれないように十分注意してください。
4. 適正な負荷設定の電流値で効率的な作業をしてください。
 - ◎ ソーモータの適正な負荷は、被削物の状態、ブレード・ワイヤーのサイズや切れ味、ソーモータの回転速度・送り負荷等により異なります。負荷設定は、ソーモータの音、ブレード・ワイヤーの回転状態、送り速度等、作業者の判断が頼りとなります。低負荷状態から開始し、適正な負荷となるように負荷設定を調整してください。負荷が適正でないと、送り異常が発生する恐れがあります。
 - ◎ 無理な負荷設定をされますと、機械に負担がかかり故障の原因となりますので十分注意してください。
5. 発電機を使用する時は、インバータ発電機を使用してください。
 - ◎ 自動送り装置などの精密機器は、電力波形が不安定な場合、異常な動作を起こすことがあります。発電機を使用する時は、電力波形が安定しているインバータ発電機を使用してください。

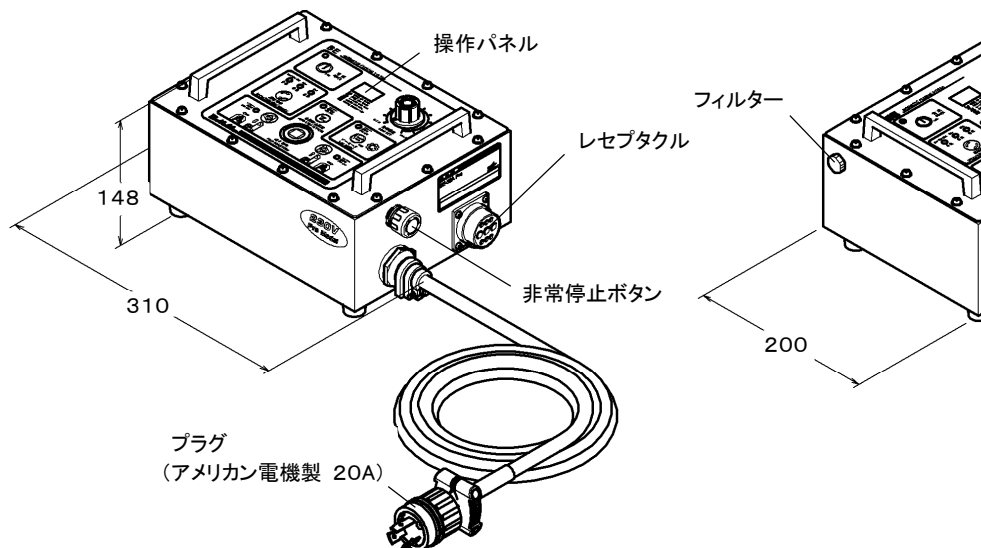
【3】自動送り停止機能の使用上のご注意

警 告

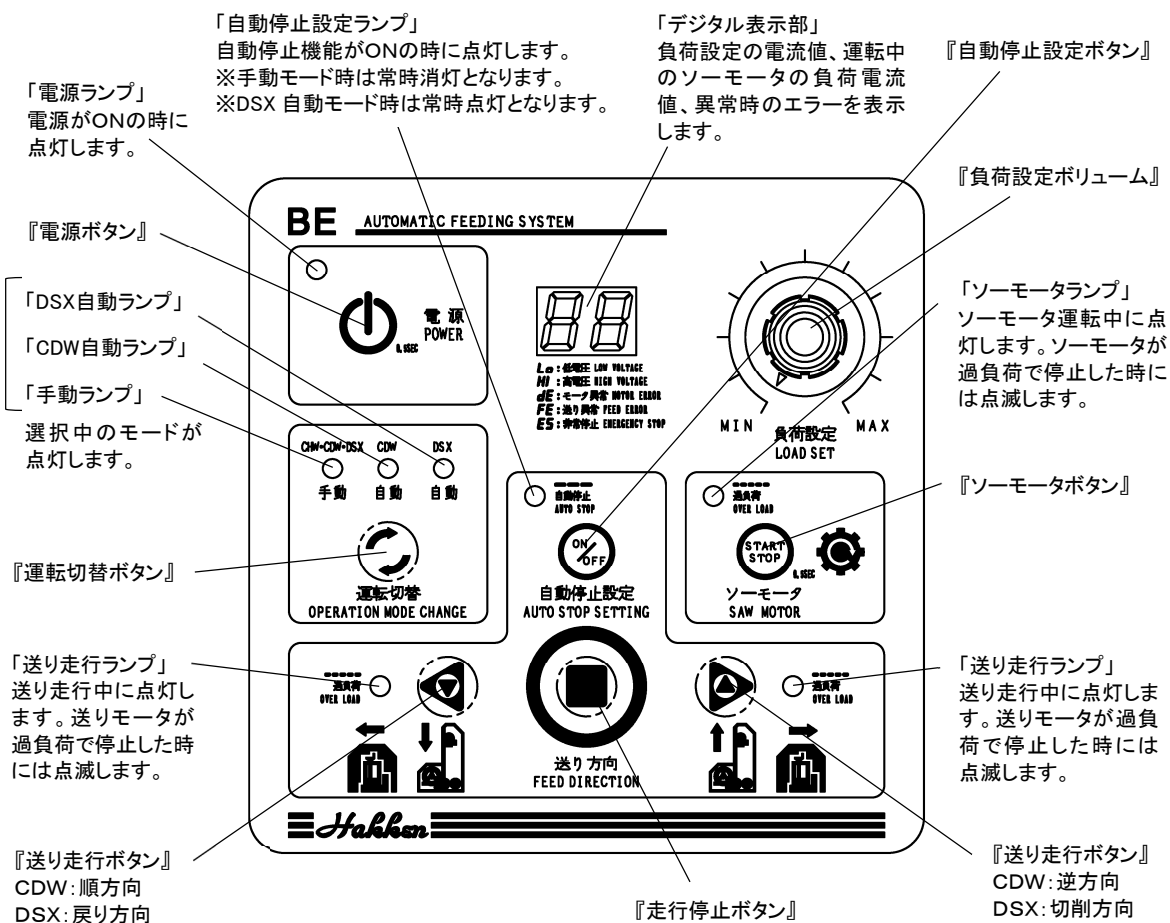
1. 自動送り停止機能は、「CDW 自動モード」「DSX 自動モード」専用の機能です。
 - ◎ 「手動モード」では、自動送り停止機能は使用できません。
2. 自動送り停止機能を使用しないときは、自動送り停止機能を切ってください。
 - ◎ 「CDW自動モード」では、自動停止機能のON-OFFができます。
3. 自動送り停止機能を使用中も、自動送り装置のそばから離れないでください。
 - ◎ 自動送り停止機能は、セリ等が原因で作動しないことがあります。
 - ◎ 自動送り停止機能が作動しなかった場合は、ただちに「非常停止ボタン」を押して、ソーモータの電源と自動送りを停止してください。
 - ◎ 切断後も運転を続けると、ウォールカッターの場合走行レールから外れて落下したり、転倒する恐れがあり大変危険です。

2. 各部の名称

【1】自動送り装置



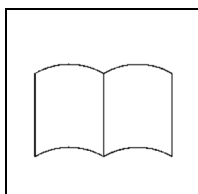
【2】操作パネル



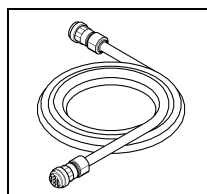
3. 仕様

型式名	BE-32A Pro	
使用電源	周波数	単相交流 50/60Hz
	電圧	200-230V
最大消費電力	150W	
ソーモータ負荷設定範囲	5A~16A	
適用機種	ウォールカッター:CDWシリーズ、CHWシリーズ	
	電動ワイヤーソー:DSXシリーズ	
適用ソーモータの定格電流	16A以下	
使用周囲温度	-5°Cから40°C	
質量(ケーブルを含む)	4.7kg	

4. 標準付属品



取扱説明書
…1ヶ

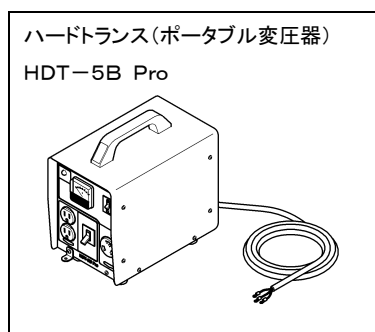


(特)7芯接続コード組
10m…1ヶ

5. 用途

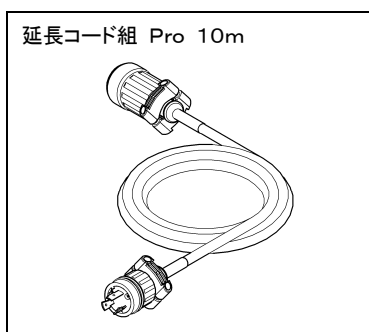
- ◎ 当社のウォールカッターおよび電動ワイヤーソーの操作。

6. オプション品 (別売)



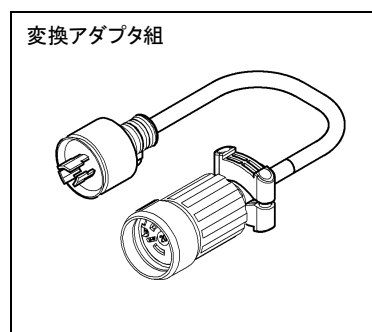
ハードトランス(ポータブル変圧器)
HDT-5B Pro

200V 電源から 230V が出力できます。
5kVAの容量があり、100Vの出力も可能
です。



延長コード組 Pro 10m

アメリカン電機製プラグ・コネクタを
使用したProシリーズ専用延長コード
です。



変換アダプタ組

油圧ユニット E-2002A から電源を取る
時に使用する変換アダプタ組です。
油圧ウォールカッターのみ使用可能です。

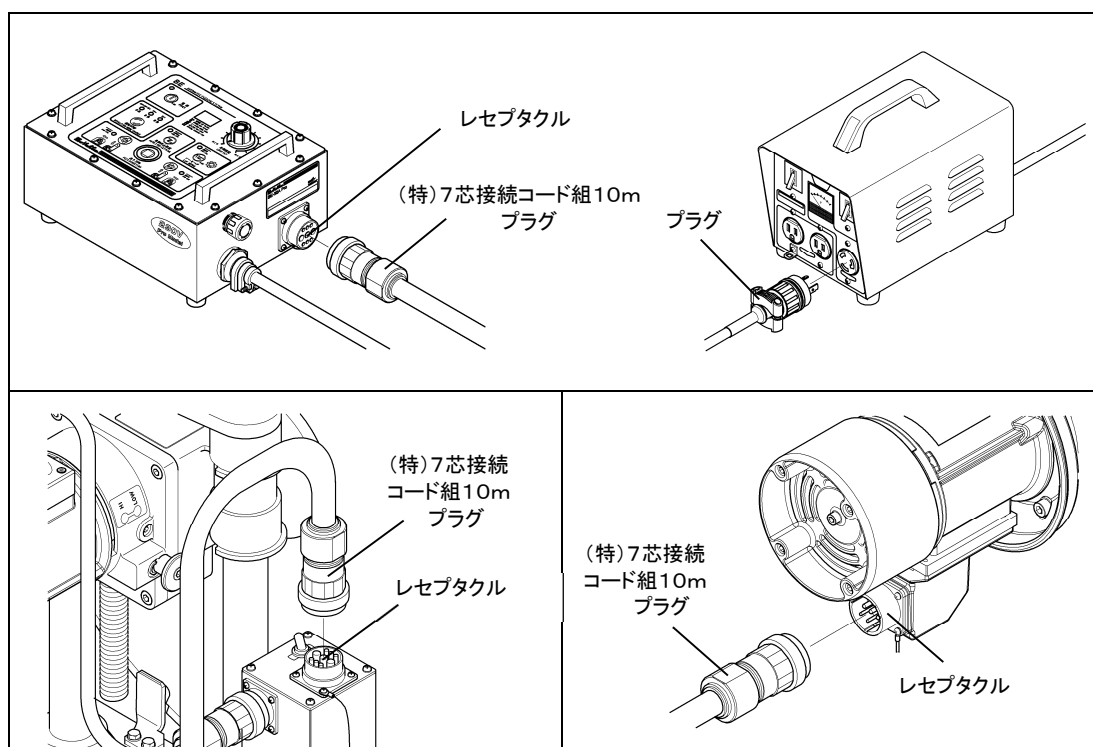
7. 使用方法

⚠ 警告

ウォールカッターおよび電動ワイヤーソーの使用方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

【1】配線

- 1) 使用する機械と自動送り装置を、(特)7芯接続コード組10mで接続し、自動送り装置のプラグを電源に差し込んでください。



使用する機械がウォールカッターの場合

使用する機械が電動ワイヤーソーの場合

⚠ 警告

正しい電源で使用してください。電圧異常の場合は操作ができない可能性があります。

⚠ 注意

1. プラグおよびレセプタクルがぬれている場合は、十分乾燥させてから接続してください。
2. プラグ・レセプタクルと、その周辺に付着しているゴミ等は、きれいに拭き取ってから接続してください。

【2】モード選択

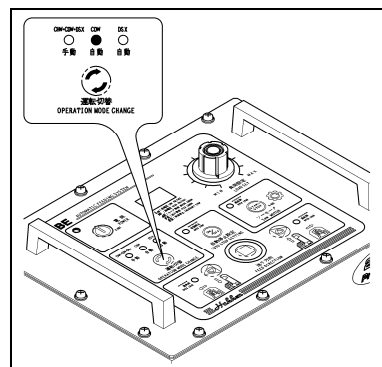
1) 自動送り装置の『電源ボタン』を長押し(0.5sec)し、自動送り装置の電源を入れてください。

2) 『運転切替ボタン』を押し、使用する機械に適したモードに変更してください。

CDW 自動モード・・・電動ウォールカッターCDW シリーズ

DSX 自動モード・・・電動ワイヤーソーDSX シリーズ

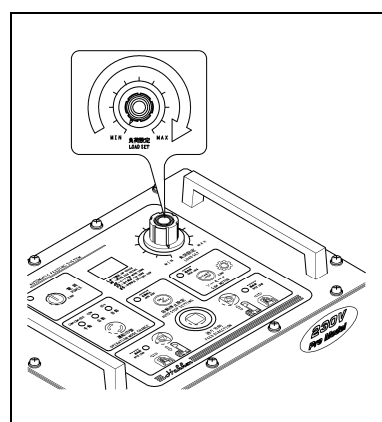
手動モード・・・油圧ウォールカッターCHW シリーズなど



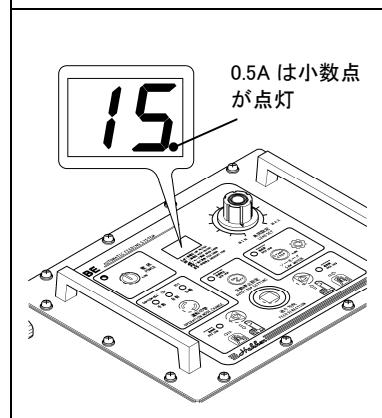
【3】CDW 自動モード、DSX 自動モードでの切断作業

1) ソーモータの負荷設定をしてください。

『負荷設定ボリューム』を回すことで負荷を変更できます。変更中は、「デジタル表示部」に負荷設定の電流値が点滅表示されます。設定可能範囲は5Aから16Aで、0.5A刻みで調整できます。



「デジタル表示部」の小数点の点灯は0.5Aを意味します。例)右図の表示は、15.5Aを示します。



▲ 警告

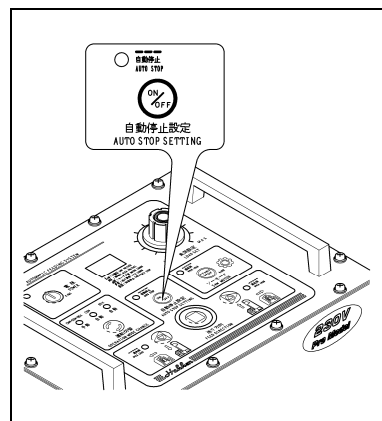
負荷設定の電流値は、ソーモータの定格電流値を超えないようにしてください。

- 2) 自動停止機能を使用する場合は、『自動停止設定ボタン』を押してください。

自動停止機能は、ソーモータの負荷が低下したこと感知して、運転を停止する機能です。

「CDW 自動モード」のみ自動停止機能の ON-OFF ができます。

「DSX 自動モード」の場合、自動停止機能は常時 ON となります。



▲ 警告

1. 自動停止機能が ON の場合でも、ブレードのセリ等によりソーモータの負荷が高い場合は、自動停止しないことがあります。作業者は常に自動送り装置から離れず、いつでも停止操作が行えるようにしてください。
2. 自動停止機能が作動しなかった場合は、切断走行が停止しません。ウォールカッターの場合走行レールから外れて落下したり、転倒する恐れがあり大変危険です。

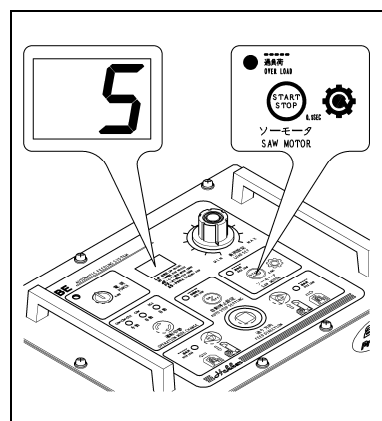
- 3) 水道の蛇口をあけ、給水コックを徐々に開き、給水量を調整してください。

- 4) 被削材に切り込みを入れてください。

※使用する機械の取扱説明書にしたがってください。

ソーモータを運転させるときは、自動送り装置の『ソーモータボタン』を長押し(0.5sec)してください。

ソーモータの運転中、「デジタル表示部」には、ソーモータの負荷電流値が表示されます。



- 5) 自動送り装置の『送り走行ボタン』を押して切断走行させてください。

- 6) ソーモータの音、ブレードまたは、ワイヤーの回転状態、送り速度等の様子を見て、「デジタル表示部」を見ながら『負荷設定ボリューム』で負荷設定を調整してください。

- 7) 切断が完了しましたら、

- ①自動停止設定 ON の場合

自動停止します。

・・・送りモータとソーモータが停止し、「自動停止ランプ」が点滅します。

『自動停止設定ボタン』を押し、自動停止状態(ランプの点滅)を解除してください。

- ②自動停止設定 OFF の場合

『走行停止ボタン』、『ソーモータボタン』を順に押し、送りモータとソーモータを停止させてください。

- 8) 給水を止めてください。

【4】 手動モードでの切断作業（油圧ウォールカッターの場合）

▲ 警告

油圧ウォールカッターおよび油圧ユニットの使用方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

- 1) 自動送り装置の、『負荷設定ボリューム』を MIN にしてください。
- 2) 水道の蛇口をあけ、給水コックを徐々に開き、給水量を調整してください。
- 3) 油圧ウォールカッターを始動し、被削材に切り込みを入れてください。
- 4) 自動送り装置の『送り走行ボタン』を押してください。
- 5) 油圧ユニットの圧力計を見ながら、油圧モータの負荷が一定になるように、『負荷設定ボリューム』で送り速度を調整してください。『負荷設定ボリューム』の位置に比例した送り速度になります。

ポイント

1. 送り速度は MIN の位置で停止、MAX の位置で最大速度となります。
2. 自動送り装置の「デジタル表示部」には、常時0が表示されます。

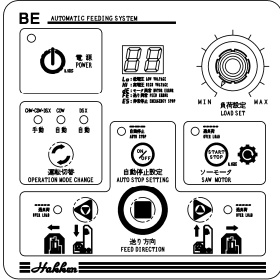
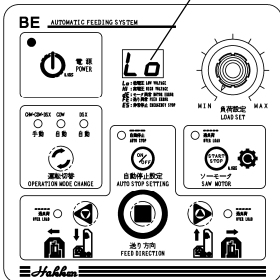
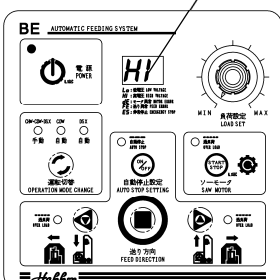
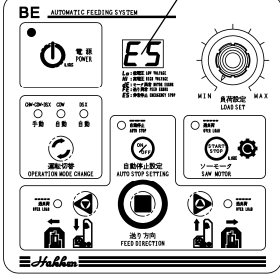
- 6) 切断が完了しましたら、自動送り装置の『走行停止ボタン』を押して送りを停止させた後、油圧ウォールカッターを停止させてください。
- 7) 給水を止めてください。

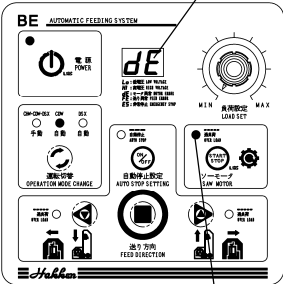
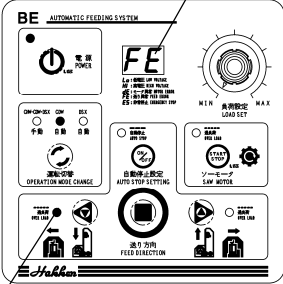
【5】 作業終了

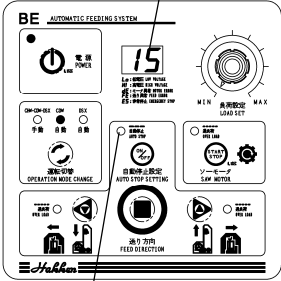

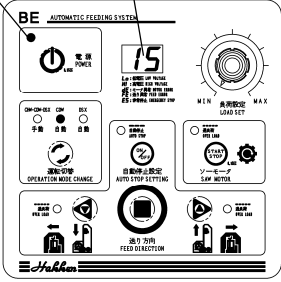
- 1) 自動送り装置の『電源ボタン』を押して、自動送り装置の電源を切ってください。
- 2) 自動送り装置のプラグを電源から抜いてください。
- 3) 配線をはずしてください。
- 4) 各機械の取扱説明書にしたがって片付けを行ってください。

8. 作業中のトラブルと対策

- ◎ 作業中に異常を感じたら、ただちにスイッチを切り、安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。ウォールカッター・電動ワイヤーソーに関してのトラブルについては、各取扱説明書を参考にしてください。

トラブル	パネル表示	原因	対策方法
表示・ランプが全く点灯しない		プラグが抜けている	プラグを電源に差込む
		断線している	修理
エラー表示が点滅する	<p>Loの点滅表示</p> 	電源電圧が低い	電源電圧を正常にした後、『電源ボタン』を押す
	<p>HIの点滅表示</p> 	電源電圧が高い	電源電圧を正常にした後、『電源ボタン』を押す
	<p>ESの点滅表示</p> 	非常停止ボタンが押されている	『非常停止ボタン』を時計回りにまわし、非常停止を解除する

トラブル	パネル表示	原因	対策方法
ソーモータが停止した	<p>○ソーモータ過負荷</p> <p>dEの点滅表示</p>  <p>点滅</p>	ブレード・ワイヤーがロックした	『ソーモータボタン』を押して点滅を解除し、過負荷の原因を排除く (ウォールカッター・電動ワイヤーソーの取扱説明書を参照)
	セリが発生した	ソーモータが焼損している	
	送り不良	<p>○送りモータ過負荷</p> <p>FEの点滅表示</p>  <p>点滅</p>	スライドブロックのクランプ調整が強すぎて、スライドブロックの移動の抵抗が大きい (電動ワイヤーソー)
フィードやスライドブロックの移動に障害がある (電動ワイヤーソー)		『走行停止ボタン』を押して点滅を解除し、障害を取除く	
切れ味の悪いブレードまたはワイヤーを使用している		『走行停止ボタン』を押して点滅を解除し、コンセック各営業所に相談する	
セリが発生した		『走行停止ボタン』を押して点滅を解除し、セリの原因を取除く (ウォールカッター・電動ワイヤーソーの取扱説明書を参照)	
負荷設定の電流値が高い	負荷設定の電流値を下げる		

トラブル	パネル表示	原因	対策方法
<p>切断途中に自動停止が働く</p>	<p>絵はデジタル表示部が「15」になっていますが設定した電流値が表示されます</p>  <p>点減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被削物が軟らかい場合 ・切れ味が良すぎる場合 ・切り込みが浅い場合 	<p>『自動停止設定ボタン』を押して点減を解除し、自動停止の設定を解除する コンセック各営業所に相談する</p>
<p>切断速度が遅い</p>		<p>太い鉄筋を切っている</p>	<p>—</p>
<p>パネルは正常に点灯しているが動かない</p>	<p>絵はデジタル表示部が「15」になっていますが設定した電流値が表示されず点灯</p> 	<p>内部温度が高いと止まる (エラー表示なし)</p>	<p>温度が下がると自動復帰するので、温度上昇に注意しながら作業を再開する</p>

9. 点検・保守・修理

▲ 警告

点検・保守の際は必ずプラグを電源から抜いてから作業を行ってください。プラグを電源につないだまま保守等を行うと、感電や事故の原因になります。

【1】作業前点検

- ◎ 取手や操作パネルのタッチシートなどに、亀裂・破損はないか、またケーブル被覆部・プラグやコネクタに、亀裂・損傷はないか点検してください。異常があった場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
- ◎ 各ボタンの作動確認を、作業前に行ってください。ボタンが作動しない等の異常があった場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。

【2】定期点検

- ◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいるところは締めなおしてください。

▲ 注意

ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

【3】保守

- 1) 作業後は、表面のよごれの清掃を行ってください。
外枠の清掃の時は、絶対に水洗いはしないで、必ず乾いた布で拭いてください。
- 2) ケーブル類の清掃
使用後は、電源ケーブルやプラグ・コネクタのよごれをきれいに拭き取ってください。

【4】修理について

- ◎ 本製品は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
- ◎ その他、取扱い上でご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

10. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇鍵のかからない場所
- ◇軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- ◇温度が急変する場所
- ◇直射日光のあたる場所
- ◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

本製品に関するお問い合わせは、下記アドレスにアクセスしていただき、
最寄りの支店および営業所へ直接ご連絡ください。

<http://www.consec.co.jp/works/hakken.html>

右の QR コードをバーコードリーダー機能付きの携帯電話より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



株式会社コンセック

〒 733-0833 広島市西区商工センター4-6-8

型式名	BE-32A Pro	検印
製造番号		